

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	24	事業名 (実施計画名)	地域支援事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	介護予防特定高齢者施策事業、介護予防一般高齢者施策事業、介護予防生活機能評価事業、地域包括支援センター運営事務、任意事業		
担当部課	保健福祉部高齢福祉介護課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	改善・効率化し継続
理由	高齢者のニーズを的確に把握し、課題の改善を視野に入れながら施策を進める必要がある。
附帯意見	介護予防の事業の今後の展開については、地域の課題を把握し、地域の実情に合った事業となるよう検討が必要であるとの意見があった。

3 評価結果の反映状況

事業費	23年度予算額 (案)	(参考) 22年度予算額	(参考) 21年度決算額
	460,357 千円	450,027 千円	399,238 千円
議会評価に対する考え方	<p>地域支援事業のうち、市の任意で実施している認知症サポーター養成講座や介護サービス相談員派遣事業などの事業はもとより、国で実施が定められている介護予防事業等についても、本市の高齢者のニーズや課題を把握し、検証したうえで、内容を効率化・改善していくものと考えています。</p> <p>また、昨年8月の国の地域支援事業要綱の改正を受け、本市ではこれまでの「特定高齢者施策」、「一般高齢者施策」の事業名をより市民に親しみを持っていただくよう「すこやか支援プログラム」、「はつらつ健康プログラム」と名称を変更することとし、今後も市民に身近で参加しやすい介護予防事業の実施に努めていきます。</p>		
今後の事業展望	<p>今後、介護保険事業計画に基づき、各事業を充実させ、効率化できる事業については改善を図っていきます。また、各事業の実施に当たっては高齢者のニーズや生活実態に応じたサービスを継続的・総合的に提供していきます。</p> <p>さらに、地域包括支援センターについては、12地区への委託型センターの整備と合わせて市直営のセンターを設置、公設施設への移転・併設を進めるとともに、(仮称)地域福祉総合相談室を設置し、こどもや障害者などを含めた全ての地域住民の保健や福祉に関する初期相談等に応じる体制を整備していきます。</p> <p>地域支援事業各事業のうち、主な23年度予算への反映状況及び今後の取組については別紙のとおりです。</p>		

別紙

	事業名(27事業)	23年度予算額(案)	22年度予算額	増 減	23年度予算への反映状況及び今後の事業展望
1	すこやか支援プログラム対象者把握事業	61,480	56,342	5,138	高齢者数の増加に伴い生活機能評価受診者数の増加するため予算を増額しました。
2	運動機能向上事業	16,725	18,769	-2,044	送迎委託費について、見込より利用者が少なかったため、これまでの実績をもとに予算を減額しました。
3	栄養改善事業	1,119	1,226	-107	
4	認知症予防事業	6,432	7,182	-750	
5	口腔機能向上事業	4,182	4,693	-511	
6	うつ及びとじこもり対策事業	507	503	4	保健師による訪問をより積極的に行います。
7	配食サービス事業	81	80	1	
8	すこやか支援プログラム対象者評価事業	76	76	0	評価帳票について工夫を行い、事業効果を明確化していきます。
	小計(すこやか支援)	90,602	88,871	1,731	
1	転倒予防教室	16,080	13,950	2,130	参加のニーズが高い事業であり、実施会場を16か所から17か所にさらに1か所増設します。
2	介護予防普及啓発事業	84	103	-19	
3	介護予防従事者および高齢者支援リーダー等	44	54	-10	
4	介護予防講演会	324	263	61	認知機能を高める栄養教室を新たに開催するため予算を増額しました。
5	地区組織活動支援事業	267	271	-4	
6	すこやか支援フォロー教室	1,327	394	933	保健師の訪問指導事業を積極的に行うため、本事業をこれまでの直営から委託に変更します。
7	はつらつ健康プログラム対象者評価事業	76	76	0	評価帳票について工夫を行い、事業効果を明確化していきます。
	小計(はつらつ健康)	18,202	15,111	3,091	
1	介護予防生活機能評価事業	162,501	162,079	422	高齢者数の増加に伴い生活機能評価受診者数の増加するため予算を増額しました。
	小計(生活機能評価)	162,501	162,079	422	
1	地域包括支援センター運営事務	170,942	167,070	3,872	地域包括ネットワークの構築の推進とセンター機能の充実に向けた取り組みを推進します。
	小計(地域包括支援センター)	170,942	167,070	3,872	
1	介護給付費適正化事業	120	120	0	
2	家族介護教室事業	290	270	20	ニーズの高い男性介護者のための交流会の回数を1回増やし、年2回開催するため予算を増額しました。
3	認知症サポーター養成研修事業	132	131	1	
4	徘徊高齢者家族支援サービス事業	1,914	1,914	0	
5	家族介護慰労事業	300	300	0	
6	介護用品等支給サービス事業	2,018	2,120	-102	
7	成年後見制度利用支援事業	5,776	4,516	1,260	NPO法人との協働事業を終了し、今後は委託事業として引き続き本事業を推進していきます。
8	福祉用具・住宅改修支援事業	100	100	0	
9	介護サービス相談員派遣事業	5,417	5,382	35	相談員派遣事業を充実していくため、相談員を対象とした研修を実施します。
10	高齢者住宅生活援助員派遣事業	2,043	2,043	0	
	小計(任意事業)	18,110	16,896	1,214	
	合 計	460,357	450,027	10,330	